

カキドオシ

【 *Glechoma hederacea ssp. grandis* 】

科名 シソ科

属名 カキドオシ属

薬効・用途

全草（連銭草 レンセンソウ）は、利尿、消炎薬として、黄疸、胆道結石、腎臓結石、膀胱結石などに用いられる。血糖降下作用はタラノキ皮よりも強く、糖尿病治療にも応用できる。民間で、小児の疳、虚弱体質児の強壮薬として用いられている。



・花期：4～5月

備考

多年草。日本全土の道端などに自生する。名前の由来は、茎が長く伸びて垣根を通り抜けることから「垣根通し」と呼ばれ、転嫁して「垣通し」の名になった。両性花。